

奈良フィルハーモニー 管弦楽団

第52回 定期演奏会

指揮 /
栗辻 聡

ヴァイオリン /
ベンジャミン・ベイルマン

使用楽器は日本音楽財団保有のゲルネリ・デル・ジュス1740年製ヴァイオリン「イザイ」

PROGRAM

ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品35 / P.チャイコフスキー
交響曲第4番へ長調作品36 / P.チャイコフスキー

入場料(全席自由)

前売り 一般 4,000円 / 高校生以下 2,000円

当日 一般 4,500円 / 高校生以下 2,500円

小・中・高・大学生、先着200名ご招待します。

定員となり次第、締め切らせていただきます。

チケット取扱い 奈良フィル事務局 TEL 0743-57-2235

奈良県文化情報センター(文化会館内)

TEL 0742-22-0200

2023 / 2.25 **土**

13:30 開演 / 13:00 開場

奈良県文化会館・国際ホール

近鉄奈良駅東へ徒歩 5 分

※未就学児の入場はご遠慮ください

※37.5℃以上の方は、入場をお断りさせていただきます

※花束、プレゼントはご遠慮いたします

主催：特定非営利活動法人 奈良フィルハーモニー管弦楽団

＜日本音楽財団音楽貸与招へいプロジェクト＞ 協力：日本音楽財団 特別協力：日本財団

後援：奈良県、奈良市、大和郡山市、奈良新聞社、朝日新聞奈良総局、読売新聞奈良支局、毎日新聞奈良支局、産経新聞社、大和郡山市音楽芸術協会、奈良フィル友の会

お問い合わせ 奈良フィル事務局 TEL 0743-57-2235 / FAX 0743-56-5666 e-mail: naraphil@leto.eonet.ne.jp

栗辻 聡/指揮者



2015年、第6回プロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第2位を受賞し、一躍注目を浴びる。2011年、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻を首席で卒業し、音楽学部賞並びに京都音楽協会賞を受賞。その後、オーストリア国立グラーツ芸術大学大学院オーケストラ指揮科、スイス国立チューリッヒ芸術大学大学院指揮科を首席で卒業。在学中には、数々のオペラ公演やオーケストラ公演を指揮した。

これまでに、ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団、マケドニア・フィルハーモニー管弦楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団、フラデツ・クラロウヴェ・フィルハーモニー管弦楽団、ムジークコレギウム・ヴィンタートゥール、パート・ライヒェンハル・フィルハーモニー管弦楽団、聖クリストファー室内合奏団、ルーセ・フィルハーモニー管弦楽団、オタワ・ナショナル・アーツ・センター管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、山形交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団、オーケストラ・ジャパン等を指揮している。オペラの分野では、「ラ・ボエーム」、「アドリアーナ・ルクヴール」、「夕鶴」等を指揮し好評を博す。

これまでに指揮を、秋山和慶、尾高忠明、増井信貴、谷野里香、マルティン・ジークハルト、ヨハネス・シュレーフリ氏の各氏に、オペラ指揮法をウォルフガング・ボジチ氏に師事。指揮講習会においてベルナルト・ハイティンク、デイヴィッド・ジンマン、エサ＝ベッカ・サロネン、アンドリス・ボーガ、鄭致溶、井上道義、湯浅勇治、飯森範親、沼尻竜典、下野竜也の各氏から指導を受ける。

ムジカA国際音楽協会会員、公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団音楽奨学生、2012年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション音楽奨学生。第28回京都芸術祭音楽部門亀岡市長賞受賞。

奈良フィルハーモニー管弦楽団正指揮者、奈良フィルハーモニー混声合唱団指揮者、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻非常勤講師、大阪音楽大学講師。

ベンジャミン・バイルマン/ヴァイオリン



1989年生まれ。シカゴ音楽院を経て、カーティス音楽院にてアイダ・カヴァフィアンとパメラ・フランクに師事する。その後、クロンベルク・アカデミーにてクリスティアン・テツラフの下、さらなる研鑽を積む。

2010年モントリオール国際音楽コンクール、同年アメリカのヤング・コンサート・アーティスト国際オーディションでの優勝を機に、数々の著名なオーケストラと共演するなど、ソリストとして国際的なキャリアをスタートさせる。2014年には若き才能を支援するロンドンのボルレッティ＝ブイトーニ財団のフェローシップに選ばれた。また、ワシントン・ポスト、ニューヨーク・タイムズ、イギリスのザ・ストランド誌でも新進気鋭の若手ヴァイオリニストとしても取り上げられている。

これまでに、ネヴィル・マリナーやヤニック・ネゼ＝セガンなど著名な指揮者をはじめ、フィラデルフィア管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団等と共演している。ループル美術館オーデトリウムやウィグモアホールにてリサイタルを行っている他、マールボロ音楽祭、ミュージック・アット・メンロー(カリフォルニア)、ヴェルビエ音楽祭等に出演している。

2016年3月には、ワーナークラシックスよりファーストアルバム「スペクトラム」を発売した。

使用楽器は日本音楽財団保有のガールネリ・デル・ジェス 1740年製ヴァイオリン「イザイ」。

●ガールネリ・デル・ジェス1740年製ヴァイオリン「イザイ」

この楽器はベルギーの国家的ヴァイオリン奏者、ウジェーヌ・イザイ(1858～1931)が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中に貼られた小さなラベルには赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ1928」とフランス語で書かれ、イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進したことで知られている。1965年に巨匠アイザック・スターン(1920～2001)の所有となり、1998年に日本音楽財団がこの楽器をスターンから購入した後も、生涯に渡り愛用した名器である。

特定非営利活動法人

奈良フィルハーモニー管弦楽団



奈良フィルハーモニー管弦楽団は、「奈良にプロ・オーケストラを！」と、志ある音楽家たちが集い、1985年に結成したプロ・オーケストラ。メンバーは、高度な音楽教育を受け、ソロやアンサンブル等にも活躍する他、積極的に後進の指導にもあたっている。奈良での演奏会も定着し、その音の美しさと緻密なハーモニーは、聴衆から高く評価をうけている。

奈良県主催「なら・ミュージックフェスティバル「石丸 寛」トーク&コンサート」、「オープニングフェスタ「宮川 泰」ハッピーコンサート」、「山本直純」のゆかいなコンサート」に出演。20世紀最後の大海日に生駒市でカウントダウンコンサートに出演、2001年「宝くじコンサート・奈良フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会」に出演、同じく、斑鳩町文化振興財

団主催「奈良フィル&オリヴィエ・シャルリエコンサート」に出演。

同年6月大和郡山市21世紀記念事業「第九演奏会」に出演。以後2002～2005年、やまと郡山城ホール主催「大和郡山市民第九演奏会」に出演。

また、'99年、2000年、2001年香川県仲南町に招かれる。「子と親の楽しいコンサート」を各地で開催し、青少年の情操教育にも力を入れている。

日本を代表する指揮の秋山和慶氏と世界的なヴァイオリニスト、オリヴィエ・シャルリエ氏を迎えての20周年記念第15回定期演奏会は、大好評を博した。

やまと郡山城ホールにおいて2002年より毎年ニューイヤーコンサートに出演。

2006年から始まった「なら燈花会プロムナードコンサート」に指揮者 金聖響、横島勝人、阪哲朗、矢澤定明、和太鼓奏者 林英哲、ピアニスト メジューエワ、近藤嘉宏、仲道育代、小川典子、横山幸雄、ジャズピアニスト山下洋輔、二胡奏者チェン・ミン、テノール歌手錦織健、ヴァイオリニスト川井郁子、チェリスト宮田 大と共演。

2008年10月東大寺大仏殿前に於いて、東大寺世界遺産登録10周年記念コンサートに出演。第1回「ならび！」に出演。2013年より奈良県主催「ムジックフェストなら」に県民一般公募の合唱団と第九を演奏。その美しく迫力ある演奏に好評を博す。

2015年11月1日青島広志氏を迎えて奈良フィル30周年特別記念演奏会を開催。

30周年のお祝いに相応しく楽しいコンサートに会場が一体となり、大成功を収めた。

'97年に第1回定期演奏会を開催し、以降、年2回のペースで定期演奏会と、月1回のサロンコンサートを開催。

結成当初の「もっと楽しいコンサートを！」を今もモットーに、近畿一円の公共団体及び各種団体からも招かれ、演奏活動を行っている。

奈良県のプロ・オーケストラとして日本オーケストラ連盟に籍を置く。

日本オーケストラ連盟準会員。